

事務事業名	真岡市交通指導員連絡協議会支援事業				担当	市民生活部 市民生活課 交通安全係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名			
施策名	8	交通安全の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和58 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	8. 交通安全対策費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	交通指導員で構成している真岡市交通指導員連絡協議会の活動を支援している。 協議会の活動内容は、定例会、研修事業等の開催及び市主催等各種行事における交通指導協力である。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 30年度実績 定例会、研修会、市主催各種行事協力への連絡調整 31年度計画 平成30年度と同じ		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 定例会の開催数	回	12	12	12	12	12
		イ 研修会の開催数	回	2	2	2	2	2
		ウ 補助金の額	千円	288	288	288	288	288
		エ 市主催等各種行事	延人数	107	107	107	109	109
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡市交通指導員連絡協議会		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 会員数	人	40	40	40	40	40
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 支援することによって、交通指導員の技術向上を図り、児童・生徒の登校時の交通安全を確保する		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 指導日数	日	197	198	200	199	199
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 市民の交通安全意識の高揚と交通事故防止		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 安心して通行できる市民の割合	%	100	100	100	100	100
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	288	288	288	288	288	
	事業費計(A)	千円	288	288	288	288	288	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	60	60	60	60	60
		人件費計(B)	千円	251	249	249	250	250
トータルコスト(A)+(B)		千円	539	537	537	538	538	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	交通指導員間の親睦や立哨指導上の情報交換等を通じての資質向上を目的に協議会が設立された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	交通量の増加、道路整備の進展により新たな配置の要望が増え、増員した。 また、指導員の高齢化に伴い、平成15年度から70歳定年制が導入された。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	